



取組名 ○ 磐田市型の我が事・丸ごと! 住民参加型生活支援事業【せいかつ応援倶楽部】の取組

受賞者 ○ 社会福祉法人磐田市社会福祉協議会(静岡県磐田市)

所在地 〒438-0077 静岡県磐田市国府台57番地7 iプラザ(磐田市総合健康福祉会館)内
電話 0538-37-9617
URL <http://www.iwatashakyo.or.jp>
E_mail tiiki@iwatashakyo.or.jp

活動地域概要 高齢者福祉行政の基礎調査(平成29年4月1日現在)

活動範囲	静岡県磐田市		磐田市の概ね全域
総人口	170,203人		
65歳以上人口	45,491人	26.7%	(総人口に占める割合)
75歳以上人口	21,390人	12.6%	(総人口に占める割合)
一般世帯数	66,103世帯		
高齢単身世帯数	6,205世帯	9.4%	(一般世帯数に占める割合)
高齢夫婦世帯数	6,524世帯	9.9%	(一般世帯数に占める割合)

キーワード

磐田市型の我が事・丸ごと! 住民参加の生活支援活動から見て来た課題を専門職も交えて解決する活動に発展!

取組・事業の背景・経緯

“ちょっとした困りごと”を抱える住民と社会参加したいという思いの住民とをマッチング!

■背景

市社会福祉協議会として、住民と共に地域福祉推進事業に取り組んでいる中で、聴こえてくる声と声をマッチングさせた地域の支え合い事業。住民のちょっとした困りごとを支援することで、在宅生活を継続する仕組みと時間を有効に使いたい、社会参加したいという思いの住民の活躍の場の創設をとおして、みんなにやさしいまち、磐田市を目指して事業検討をスタート。

■経緯

平成20年から事業検討に入り、住民参加型で生活支援事業に取り組んでいる先進地(県外2市社協)を視察。ノウハウを学び、磐田市型の仕組みを構築。事業実施にあたり、地区社協や民生委員児童委員協議会、シルバー人材センター等、関係団体からの意見を伺いながら、事業にご協力いただける地域支援員(支えてくださる住民)の募集と地域住民に対しての事業説明を並行して行い、平成22年5月から事業開始。

取組・事業の概要と特徴

市社協事業としての展開を住民主体の運営に移行! 両輪で地域福祉力向上!

■事業概要

在宅福祉の充実と地域コミュニティの進展を図るために、地域住民が主体となって実施する住民参加型の生活支援事業。地域支援員として事前登録いただいた地域住民が、介護保険制度や障害者総合支援法などによる公的サービスでは対応できない生活上の“ちょっとした困りごと”(掃除、動物の世話、草取り、ごみ出し・分別、買い物代行、整理整頓、話し相手、病院等付き添い等)の解決を支援する、地域の助け合い・支え合い事業。

■特徴

①市社協事業としての展開

市社協事業としての仕組み(コーディネート方法、初回訪問・同行、チケット制《1時間500円》、保険加入、地域支援員説明会・連絡会・スキルアップ講座・包括・ケアマネへの事業周知と連携等)を構築した。

②『地域福祉力向上プログラム』による、地域住民組織(地区社協)事業への移行

磐田市社協の『地域福祉力向上プログラム』(H23.11策定、H25・29改訂)は、市内に設立された20地区社協を基盤に、地域住民で支援を求めている人に気づき、地域ニーズに即した事業や住民同士の助け合い事業等、地域における支え合い活動の裾野を広げることを目的に策定。具体的な事業メニュー(地域せいかつ応援倶楽部等)を提示し、更なる“地域福祉力向上”を目指すプログラム。現在、6地区社協が事業実施主体となり、「地域せいかつ応援倶楽部事業」を運営している。

取組・事業の成果

磐田市型の“我が事・丸ごと”につながる活動に発展!!

事業スタートしてから、随時、課題分析と見直し・改善を図り、協力者(現在:315人)を増やしなが、より利用しやすい生活支援事業になるよう地区社協と共に努めてきた結果、支援件数は、年間4,253件。7年間で、延べ19,639件(H28年度末実績)に上っている。

また、住民参加型生活支援事業に賛同する6地区社協が主体的に事業展開したことにより、住民同士の支え合い活動から見て来た地域課題をどう解決していくのか? 関わった住民が、我が事と感じ、専門職(包括・ケアマネ等)を交えて丸ごと地域の支え合い活動の限界点を上げる活動に発展。

磐田市の住民パワー! ちょっとある時間と知恵を地域に広げることで、生活支援・介護予防を充実させ、誰もが生きがい・役割を持って、いきいき生活できる住民主体の地域包括ケアシステム構築につながる活動となっている。

